

第3種郵便物認可

北

國

社会福祉法人小松市大和善隣館は保育士を確保するため、新年度に学生を対象とした奨学金制度を設ける。保育士を志す大学生や短大生、専門学校生に年間最大50万円を貸与し、卒業後、同法人が運営する子ども園に5年間勤務すれば返済を全額免除する。奨学金として毎年200万円を用意する予定で、有能な人材の確保と育成に先手を打って取り組む。

奨学金は、貸与が決まった月の翌月から卒業する月まで無利息で受けることができる。年間50万円を限度に本人の希望額を貸与し、総額は大学生なら1人当たり最大200万円となる。卒業時に保育士や幼稚園教諭の資格を得ることができ、同法人に保育士として勤務する意志があることなどが条件で、同法人理事らでつくる選考委員会が書類選考と面接を行い、理事長が奨学生を決める。奨学金の返済が免除される場合は勤務期間によって変動する。5年間の場合は

保育士確保へ奨学金

学生に年間50万円貸与

新年度に小松市大和善隣館

勤務の場合は返済免除

100%免除され、4年間では70%、3年間では50%など、勤務期間が短くなるほど免除される割合は低くなる。

厚生労働省によると、全国では、国の助成を受けて保育士を目指す学生向けに奨学金を出す自治体がある。大和善隣館によると、同様の奨学金制度を導入している法人は県内にはないという。

大和、松陽、月津の各子ども園を運営する同法人によると、10年前には保育士1人の募集に対して7、8人の応募があった。毎年、新採保育士を3人募集しているが、今年度は2人とどまり、初めて人材派遣業者から保育士1人を紹介してもらった。

保育士不足が深刻な状況ではないものの、今後、保育士の重要性が高まるこ

とで人材不足に陥る事態も予測されることから、前もって確保に乗り出すことにした。同法人の広川保事務局長は「優秀な保育士を確保し、愛着を持って長く働いてもらいたい」と話した。